

人間を救うのは人間だ。

赤十字 2022 秋号 やまぐち

Japanese Red Cross Yamaguchi Chapter

助ける 救うを


自宅から
できる支援が
あります



小学校リーダーシップ・トレーニングセンター(下関市)

災害時の「医療救護活動」や日頃の「いのちと健康を守るための講習」、「青少年の育成」など
全ての事業は県民の皆さまからの寄付金を財源にしています。

令和3年度 日本赤十字社山口県支部 決算報告 (単位:円)

皆様からの活動資金をもとに、
人間のいのちと健康、
尊厳を守る活動を続けています。

活動資金収入	277,184,670
委託金収入	927,713
補助金及び交付金収入	1,834,180
繰入金収入	29,345,096
資産収入	342,000
雑収入	8,770,045
前年度繰越金	38,442,788

災害救護	21,586,902
いのちと健康を守る講習普及	8,176,380
赤十字ボランティアの育成・活動促進	7,498,429
未来につなぐ青少年赤十字活動	10,408,589
国際活動、赤十字の全国的事業	41,871,053
市町の赤十字事業	37,095,537
赤十字思想の普及等	39,141,063
支部の運営費	35,108,526
災害等基金積立	115,869,056
翌年度繰越	40,090,957



※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計となっており、この決算には含まれていません。

災害時のあの人を救うのは、今のあなたです。



日本赤十字社は、世界 192 か国にある赤十字社の1つです。

日本赤十字社法という法律に基づく認可法人であり、独立した民間の団体です。

赤十字の活動は、公平・中立に行うため、国や県・市町からの補助金は受けずに県民の皆さまからの温かいご寄付を財源に実施しています。

未来につなぐ青少年赤十字

誰の心の中にも本来ある「やさしさ」と「思いやり」の心を育てていく「青少年赤十字 (JRC)」。

この青少年赤十字事業が今年で創設 100 周年を迎えました。



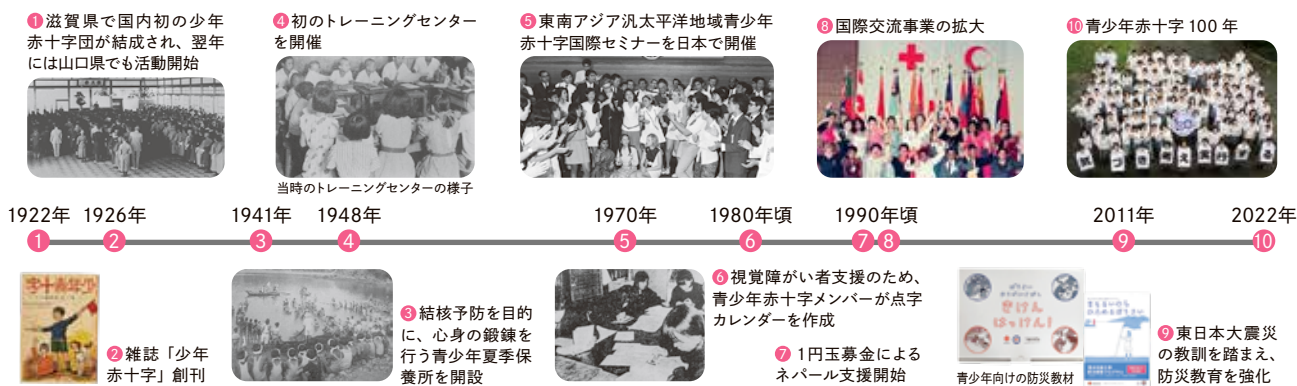
山口市立湯田小学校児童による人文字

青少年赤十字100年の歩み



青少年赤十字は、第1次世界大戦のときにカナダやオーストラリアなどの学校の生徒と先生が、戦争で苦しむヨーロッパの人々を慰め励ますために手紙や包帯、慰問品などを赤十字を通して届けたことをきっかけに誕生しました。

子どもたちに赤十字の理念である「人道」の精神を伝え、いつの日か戦争のない世界を実現したいとの願いをもとに、日本でも1922年に滋賀県で誕生して、以降、全国各地で青少年赤十字の活動が推進されています。



山口県内の取り組み

現在、県内では175の幼稚園・保育所、小・中・高等学校・総合支援学校が青少年赤十字に加盟し、「気づき、考え、実行する」を合言葉に様々な活動を行っています。また、自主性や協調性を養うための研修などにも参加しています。

奉仕活動



聖光高等学校JRC部による清掃活動

加盟校の児童・生徒たちが地域での清掃活動や高齢者支援、また献血協力などの奉仕活動を行っています。



山口県鴻城高等学校JRC部による献血

研修



目隠しをして、友達と協力しながらゴールに向かう小学生

自主性や協調性を養うためのリーダー養成研修(リーダーシップ・トレーニングセンター)や人権について考える研修などを行っています。



山口市立島地小学校で行った人権を考える研修

防災教育

子どもたち自らが災害からいのちを守れるよう、楽しみながら学べる防災教育を展開しています。



地域の幼稚園児に防災の大切さを伝える萩高校の生徒

国際支援

海外で困っている人のため、1円玉募金による支援を行っています。



大殿小学校から1円玉募金を受領



支援を受けているネパールの子どもたち

担当は私です

事業推進課
藤井 由美子



青少年赤十字 (JRC) では、子どもたちの「人道のこころ」を育むお手伝いをしています。JRCメンバーが、100年先も続く「やさしい未来」を作ってくれると期待しています!

災害救護

担当は私です



事業推進課
清水 賢一

救護訓練

赤十字では、近い将来の発生が危惧される大規模地震や、近年、頻発化している大雨災害等の際に、昨今の感染症流行期でも救護活動を迅速かつ確に実施できるよう日頃から資機材の整備や救護員の訓練を重ねて備えています。



◀県との総合防災訓練

防災・減災に向けた取り組み

災害に備えるための知識などをお伝えし、地域の自助・共助の力を高めるために、自治会や学校・企業で「防災・減災」講習を実施しています。また、講習を実施する指導者の研修も行い、地域からの依頼に対応できる体制を整えています。



「赤十字防災セミナー」の実施

ぜひ防災・減災講習のお申し込みを！

地域における自助・共助の力の向上を図ることを目的に、「赤十字防災セミナー」を展開しています。



紹介動画

義援金の募集

被災された方々を支援するため、義援金の受付を行っています。皆さまから寄せいただきました義援金は、被災都道府県内の義援金配分委員会を通じて、全額を被災された方々にお届けしています。



令和4年8月3日からの大雨による新潟県の被災地域 ▶

～現在受付中の義援金～

- ・令和4年7月大雨災害義援金
- ・令和4年8月3日からの大雨災害義援金

※ 受付期間が終了している場合がありますので、詳細は「日本赤十字社ホームページ」をご覧ください。

いのちと健康を守る講習会の開催

担当は私です



事業推進課
松本 俊祐

感染症流行期でも、大切ないのちと健康を守るための知識・技術を普及するための各種講習を実施しています。

救急法

心停止で倒れた人を救助するための心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使い方、三角巾を活用したけがの手当ての方法などの知識と技術が学べます。



幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当などに関する知識と技術が学べます。



令和4年度 基礎・救急員養成講習の日程

基礎：心肺蘇生法やAEDの使い方が学べます。 養成：急病やけがの手当て、搬送法などが学べます。

- 宇部市：宇部市総合福祉会館（※12日は多世代ふれあいセンター）
[基礎・養成] 2022年11月5日（土）、6日（日）、12日（土）
- 周南市：周南市徳山保健センター
[基礎・養成] 2023年1月14日（土）、21日（土）、22日（日）
- 山口市：サンフレッシュ山口
[基礎・養成] 2023年2月18日（土）、25日（土）、26日（日）

※ 各会場とも、初日に基礎講習を実施します。時間等の詳細は、ホームページでご確認ください。

夜間講習 日本赤十字社山口県支部

[基礎] 2022年11月18日（金）、25日（金）、12月2日（金）18:00～19:30
※ 上記3日間を通しての受講になります。

お申込みについて

当支部ホームページの申込フォームまたはお電話で受け付けています。



健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学べます。



令和4年度
講習会
実施状況
(山口県内)

実施回数 **257回**
受講者 **7,494名**
(令和4年8月31日時点)

地域や学校・企業等の要望に応じて指導員を派遣しています。各種講習の実施を希望される場合には、お気軽にお問い合わせください。

担当は私です



事業推進課
徳本 野乃花

赤十字ボランティア

活動目的ごとに組織されたボランティアグループが、感染症流行期においても知恵を出し合い、工夫しながら地域の清掃活動など、社会や地域ニーズに寄り添った活動を行っています。

県下一斉ボランティアの活動紹介

赤十字にゆかりのある5月の『赤十字運動月間』を中心に、県内約600人の赤十字ボランティアをはじめとした関係者が、地域の清掃活動や学校への手洗い石鹸配布などの奉仕活動を行いました。



周防大島町の海岸を清掃する赤十字ボランティア

講習会での指導

多くの赤十字ボランティアの協力のもと、地域や学校などで、救急法や防災講習の指導を行っています。



宇部市立黒石中学校で救急法を教える赤十字ボランティア

県内で活躍する赤十字ボランティア

山口県内では、約8,800人の赤十字ボランティアが様々な分野で活動しています。今号では、青少年赤十字賛助奉仕団委員長として活躍中の有馬重人さんにインタビューしました！

青少年赤十字賛助奉仕団って？

青少年赤十字活動の普及や加盟促進を目的に活動する、青少年赤十字の指導経験者などで構成される組織です。



ありま しげと
有馬 重人さん
(70歳)

活動歴：8年

Q1 赤十字と深く関わることとなったキッカケ

大殿小学校の校長を務めていた時に、赤十字職員の方から「東日本大震災」の救護活動についてお聞きしました。この時、人のため、社会のために活動することの大切さを子どもたちにしっかり感じ取ってほしいと思ったのがキッカケです。



Q2 青少年赤十字(JRC)の魅力

JRCは「気づき、考え、実行する」を態度目標に掲げており、活動を通して、子どもたちの自主性や友達と協力する協調性を養ってあげることがとても魅力です。

Q3 JRC100周年を迎えて、これから取り組みたいこと

100周年をキッカケに、子どもたちに改めて「思いやりの心」や「人道」について振り返る場を作っていきたいと考えています。また、学校の訪問や機関誌などの呼びかけを通じて、青少年赤十字の輪を広げていきたいです。

読者の方々へメッセージ

子どもたちが自分で考えて問題を解決していくJRCの活動は、子どもの成長を促す上でとても大切です。ぜひ各学校での加盟をご検討ください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・この用紙による、払込料金は無料となります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

(個人)

この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号に規定する特定寄付金に、また地方税法第37条の2、地方税法第314条の7、地方税法施行令第7条の17に規定する個人住民税控除の対象となります。

(法人)

この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。

この場所には、何も記載しないでください。

赤十字への寄付に協力ください。

より取り取りたいから

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

お寄せいただいた寄付をもとに県内の子どもの育成や、災害や紛争などで苦しんでいる人への支援など“人間のいのちと健康、尊厳を守る”ための活動を行っています。

担当は私です



総務課
平山 壽樹

ご協力方法について

お近くの窓口で

山口県支部または、お住まいの市町の赤十字窓口でご寄付を受け付けております。



お近くの郵便局・銀行で

※一部の金融機関でご利用いただける専用の振込用紙(手数料免除)もありますので、希望される方はお問い合わせください。

1 ゆうちよ銀行	01590-3-4076
2 山口銀行 山口支店	(普通)0100606
3 西京銀行 山口支店	(普通)2075763

振込先

日本赤十字社
山口県支部

郵便局・銀行の口座振替で

毎月/年1回など、ご希望の頻度と額で定期的にご寄付いただけます。申込用紙をお送りしますので、山口県支部までお電話ください。



クレジットカードで

クレジットカードでご寄付いただけます。お申込みはこちらから <https://donate.jrc.or.jp/>



スマホアプリで

スマホアプリをダウンロードして、ご本人様の情報を入力後、募金アイコンから日本赤十字社へご寄付いただけます。



ダウンロードはこちら

遺贈・相続財産でのご協力

「自分の財産の一部や、故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いご意思を受け、遺贈による寄付・相続財産の寄付を承っております。ホームページからパンフレットをダウンロードいただくか、山口県支部までお電話ください。



ご案内パンフレットはこちら

<https://www.jrc.or.jp/contribute/pdf/izosouzoku.pdf>



税制優遇について

個人

所得税および個人住民税の控除の対象

(所得税法第78条第2項第3号地方税法第37条の2 地方税法第314条の7)

相続または遺贈

相続税の非課税

(租税特別措置法第70条)

表彰について

ご寄付の金額に応じた表彰制度があります

日赤山口県支部では毎年2月頃に表彰式典を開催し、支部長(村岡嗣政知事)から対象者に直接表彰をさせていただきます。

※義援金は「国又は地方公共団体に対する寄付金」となるため赤十字表彰の対象にはなりません。

郵便局窓口専用振込用紙

手数料免除

—お問い合わせ—
日赤山口県支部

TEL083-922-0102

払込取扱票

99	広島	払込取扱票											
口座記号番号													
0	1	5	9	0	3					4	0	7	6
金額													
日本赤十字社山口県支部													
料金													
備考													
免													
※													
ご住所													
ふりがな お名前													
電話番号 () -													
●ご寄付に対する表彰を希望されますか。													
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ													
日附印													
2210													

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	1	5	9	0	3
加入者名	日本赤十字社山口県支部					
金額						
おなまえ	様					
ご依頼人	様					
料金	円					
備考						
日附印						

災害からみなさまのいのちと健康をまもる活動を継続していくために、あたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

※切り取りはできません

この受領証は、大切に保管してください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号広第7389号)

これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。切り取らないでお出ください。

ウクライナ人道危機における赤十字の対応

赤十字では、各地に甚大な被害を及ぼしているウクライナにおける紛争の避難民に対する支援をはじめとした活動を展開しています。

日本赤十字社の活動

- **救援金の募集と緊急資金援助** 受付期間：令和5年3月31日（金）まで
日赤全体の受付金額……………68億1,989万6,242円（令和4年9月6日時点）
うち山口県支部の受付金額…3,761万2,112円（令和4年8月31日時点）
※募集した救援金は、国際赤十字に送金し、現地や周辺国の支援活動に使用されています。

救援金の使いみち

- ・紛争犠牲者支援（避難民 / 負傷者 / 被拘束者含む）、民間人の保護
- ・飲料水、食料、医薬品など物資の提供
- ・ウクライナから避難された方の受入支援、避難所の提供

● 職員の派遣

薬剤師や臨床心理士、放射線技師などをウクライナや周辺国に派遣しています。



ウジュホロドで衛生キットを配付する赤十字スタッフ
©IFRC Marko Kokik

県内企業・団体の皆さまへ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日赤山口県支部では、活動を続けていくため継続的な活動資金への寄付協力をお願いしています。
なお、日本赤十字社への寄付に対しては、税制上の優遇措置や表彰制度があります。詳しくはお問い合わせください。

措置の名称等	関係根拠法令	適用期間	措置の内容等
特定公益増進法人に対する寄付金	法人税法 第37条第4項	通年	法人の通常有する寄付金損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額が損金に算入されます。

※ 法人の損金算入限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、税理士事務所等にお問い合わせください。



総務課
八木 華奈子

赤十字サポーター募集中！

赤十字サポーター制度とは

山口県内の企業・団体様が、赤十字の事業活動を通して社会貢献に参加していただける制度です。登録した企業・団体様は、日赤の社会貢献パートナーとして、広報媒体（ホームページなど）を通じて、紹介させていただきます。

認定要件

- ① 年1万円のご寄付に加え、日赤の活動へのご協力または
 - ② 年10万円のご寄付
- ※ 日赤の活動へのご協力の詳細は、当支部までお問い合わせください。



NEW

24社目
株式会社
トーフミート

プレゼント企画

新たに赤十字サポーターになった株式会社トーフミート様より、国産大豆100%の豆腐から作った、**高たんぱく・低カロリー、コレステロール0**のヘルシーなミンチ肉タイプの代替肉「**TOFU MEAT (トーフミート)**」を今回ご提供いただきました！
読者の方の中から**抽選で30名様**にプレゼントします！



- 以下項目を明記のうえ、ハガキ・FAX・WEBからご応募ください。
- 応募方法 ①お名前・郵便番号・ご住所・お電話番号・年代
 - ②本誌を入手した場所 ③本誌に関するご意見・ご感想
 - ④ご要望（取り上げてほしいテーマなど）
- ※ 応募情報にかかる個人情報、本企画のみに利用いたします。

郵送：〒753-0094 山口市野田172-5
日本赤十字社山口県支部 総務課 広報誌プレゼント係
FAX：083-932-3615
WEB：右の2次元コードからご応募ください。



※ 必着 令和4年11月30日（郵送の場合は必着）

※ 当選発表 プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。（年内に発送）

講習会や寄付のお問い合わせは

日本赤十字社山口県支部 TEL 083-922-0102

日本赤十字社山口県支部



HP



facebook

